

科目名	地域環境学 Regional Environmentology			担当教員	多川 正		
学年	5年	学期	後期	履修条件	必修	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	14134035	単位区分	履修単位
学習目標	香川県、四国といった地域に特有な環境問題やエネルギー問題、環境保全・改善計画を、様々な事例研究やケーススタディを行いながら学習・修得する。						
進め方	講義を主体に授業を進めるが、過去に発生した環境汚染問題の事例研究などグループディスカッション等を交えて学習する。適宜、外部からの講師を招き、実際の地域における環境問題やエネルギー問題、環境保全・改善計画に関して、実践的な内容に関する講義やグループワークを取り入れながら、発表や演習等を交えて学生の理解度を高める授業を行う。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. はじめに (2) (1) 授業の進め方、ガイダンス (2) 地域環境の統計データの見方 2. 香川・四国における環境問題(13) (1) 香川県および四国の公害発生状況 (2) 地域における地球環境問題への取り組み (3) 環境白書 (4) 香川用水、灌漑 (5) 豊島産業廃棄物不法投棄事件 (6) 瀬戸内海の海洋汚染			・ 香川・四国といった地域の公害の特性を理解している。 ・ 地域で発生した環境問題について説明できる。  学習・教育目標：(B)			
	2. 地域環境問題解決に向けて (15) (1) エネルギー供給問題 (2) 原子力安全政策 (3) 土壌汚染対策 (4) 香川県の環境保全施策の取り組み (5) 瀬戸内海の漁場			・ 外部講師からの情報を理解し、グループワークなどを通して意見をまとめ、説明することができる。  学習・教育目標：(B) , (D)			
	後期末試験						
評価方法	定期試験の成績を 50%、後半の授業におけるレポート、グループワークの取り組みを 50%として評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	環境工学Ⅰ(3年)→環境工学Ⅱ(4年)→環境工学特論(5年) 地域環境学(5年) 建設環境工学実験実習Ⅲ(5年)						
教材	教科書：住友 恒ら、新版 環境工学 (理工図書)、配布プリントなど 参考書：香川県環境白書 (香川県)、環境統計集 (環境省) など						
備考	環境工学特論では、グローバルな環境問題 (Think globally) などを取り扱いますが、本科目ではローカルな環境問題 (Act Locally) の部分を学習し、何か問題解決に向けて各自がアクションを起こすきっかけになればと思います。積極的な授業への参加を期待しています。 この科目は、本年度内及び進級後に単位追認試験が実施できません。						